

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“リベらしおん” No. 28 (2022/12/21)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

I <報 告>

12月4日(日)14時からヒューマンアルカディアの研究室で「海外人権スタディツアー企画部会 in 沖縄」の事前学習会と日程の説明会があり、17名が参加しました。事前学習会では、会員の高松美保子さん、柳井美枝さんが講師をつとめました。

今回は、沖縄県中部を訪れます。沖縄愛楽園では、沖縄戦や米軍占領下でのハンセン病療養所の人権について考えます。読谷村は、米軍上陸の地であり、戦後は核ミサイル発射基地が建設され、発射訓練、不発弾処理、パラシュートでの軍事物資の投下訓練が行われていました。また、沖縄戦をテーマに作品をつくり続ける彫刻家金城実さんが制作した沖縄戦で亡くなった朝鮮半島出身者を慰霊する「恨の碑」を見学し、金城さんのお話を聞きます。模擬核爆弾で投下訓練が行われた伊江島では、反戦平和資料館を見学します。嘉手納の飛行場の存在以外でも住民は常に生命を脅かされてきました。今回のツアーで、徹底した非暴力の平和運動や運動に関わる人に出会うことで、私たち自身の今が問い直されると考えています。

「ウクライナ、台湾をめぐる情勢で戦争の準備が進められていようとしています。沖縄の本土復帰から50年、沖縄から、過去と現在そして未来を見つめ直します。当事者を通して、沖縄と出会っていきたいと思います。」という「海外人権スタディツアー in 沖縄」テーマを確認する事前学習会でした。ツアー日程は、2023年1月4日(水)～1月6日(金)参加者24名です。

*機関誌『リベラシオン no. 188』に高松美保子さんが「会う旅 沖縄・辺野古」を投稿されています。お読みください。

II お知らせ①

(1) 部落史研究部会/史・資料プロジェクト合同研究会第7回

日時：2023年1月14日(土)14:00～

内容：問題提起

テーマ「京築地方における部落史の一断面」

問題提起者 加来 康宣さん(会員)

場所：古賀市ししぶ交流センター (JRししぶ駅西口)

(古賀市日吉3丁目14-3 TEL092-942-3243)

参加費:500円

(2) 第7回啓発部会

日時：2023年1月28日(土)13:00～16:00

場所：田川市民会館

テーマ：「今日の啓発の在り方について」

*前回ニュースでは、1月21日(土)としていました。訂正します。

(3) 第210回定例研究会(公開講座)

日時：2023年1月22日(日)14:00～16:00

内容：講演①「『感染症と部落問題－近代都市のコレラ体験－』を執筆して」

講師：関儀久さん（本研究所理事）

講演②「関儀久『感染症と部落問題－近代都市のコレラ体験－』の射程」

講師：石瀧豊美さん（イシタキ人権学研究所所長）

場所：春日市クローバープラザ5階 505 研修室

（福岡県春日市原町3丁目1-7）

参加資料代：500円

< * 各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

Ⅲ お知らせ②

(1) (公社)福岡県人権研究所「2023年度職員」公募について

(2) (公社)福岡県人権研究所「2023年度研究プロジェクト研究委託」について

* 締切は、1月末までです。

(3) 事務局閉局 2022年12月28日(水)～2023年1月3日(火)

詳細は、ホームページをご覧ください。

☆ホームページ

<https://www.f-jinken.com>

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！－学校文化史のおきみやげ－』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは－』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美穂

『殉義の星と輝かん～百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

部落史研究部会/史・資料プロジェクト

『2020/2021 史・資料プロジェクト報告集「身分」を考える』

木村かよ子「ポストカード」5種5枚セット500円

☆お求めは

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトをご覧ください。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

ニュース担当：峰

info@f-jinken.com（登録解除はこちらから）